

1. ビオトープ活動～ 福工大構内の里山・ビオトープは平成 18 年 3 月に学生、教職員が協力して造り、自然状態を保ちながら活用して、6 年目になります。本学のビオトープ活動は地域の自然環境保全・再生や創生のために、地域の皆様との連携（パートナーシップ）とネットワークづくりが大きな目標です。

今年度の締めくくりで、**12 月 3 日（土）に冬の自然観察会を開催しました。**地域住民の皆様と学生達は風雨の中、大いなる自然のダイナミックな変化や景観を楽しみつつ、クズの蔦を一生懸命に採取しました。その分、籠づくりにも熱が入り、それぞれ楽しいひと時を過ごしました。参加者は 34 名（地域の皆様 6 名、学生 28 名）でした。写真のように、寒さをもなんのその、自然観察をしながらクズの蔦を探し、大量に採取しました。その後、籠編みを体験学習しました。クズの皿や入れ物など様々な形のものが出来上がり、喜びの声が上がっていました。竹箸の製作も試みました。自然の恵み、素材の優しさに感謝！！



写真 1 ビオトープ池周辺で蔦とり



写真 2 クズの籠編み体験

2. 福工大前商店会活性化プロジェクト～ 学生のゼミ活動の一環として、平成 21 年 10 月から福工大前商店会の活性化プロジェクトに取り組んでいます。福工大前駅、改札を入れて小倉駅方面ホームに降りる手前の壁面に「**商店会の加盟店を紹介するポスター**」を掲示しています。現在、3 年のゼミ生が作成した第 21 回「オークバー」を掲示しています。そして、2 年のゼミ生が作成した第 22 回「居酒屋 鯉のぼり」を平成 24 年 1 月に、第 23 回「蒲池酒店」を 2 月にそれぞれのポスターを掲示する予定です。商店街には新しい飲食店が次々と開店して、老舗と共存しています。是非、ご活用・ご利用ください。

このプロジェクトに最初から参加し、取り組んできた学生達がゼミ卒業研究に取り組んでいます。12 月 16 日の卒論発表では、①商店会の歴史と現状、環境の取り組みから活性化策を検討する、②福工大前駅の出口から商店街が道路状況で分かりにくい、（案内図看板が必要？）などの提案・報告がありました。